

## 令和5年度 第2回矢祭町農山漁村再生可能エネルギー協議会議事録

- 開催日時 令和5年3月17日（金）午後1時30分
- 開催場所 矢祭町役場 第1会議室
- 委員の現在数 13名
- 出席した委員数 7名
- 出席した委員の氏名
  - ・設備整備者 O. バルテンシュタイン（IFCJ 株エコライフラボ事業統括責任者）
  - ・農林漁業者 富永 盛彦（東白川郡森林組合代表理事組合長）
  - ・農林漁業者 田部 寿一（有限会社田部林業 代表取締役）代理 田部博之
  - ・学識経験者 O. バルテンシュタイン（IFCJ 株エコライフラボ事業統括責任者）
  - ・矢祭町 鈴木 直人（自立総務課長）
  - ・矢祭町 大森 秀一（町民福祉課長）
  - ・矢祭町 菊池 基之（教育課長）
  - ・その他町長が必要と認める者 高橋 敦宏（福島県南農林事務所森林林業部林業課長）

### 1 開会【事業課長】午後1時30分

### 2 会長あいさつ

第2回の農山漁村再生可能エネルギー協議会ということで、委員の皆様にはお忙しい中集まりいただきありがとうございます。

私は今回の協議会が初めてとなり、第1回は理事会と日程が重なってしまったため、出席することができませんでした。

また、今回が初めてなので、自己紹介をいたします。

森林組合長の富永盛彦ですよろしくお願ひいたします。

早速ですが、再生可能エネルギー協議会ということで、議題がありますので、委員の皆様には審議の程お願ひ申し上げまして、あいさつといたします。

よろしくお願ひいたします。

### 3 議題【会長】

#### (1) 設備整備計画（案）について

O. バルテンシュタインより設備整備計画（案）及び発電所の概要に沿って説明。  
質疑は次のとおり。

Q：発生した熱は使いきっているのか。【その他町長が必要と認める者 高橋敦宏】

A：夏は余ります。

日本の場合夏と冬の気候はかなり変わってきますので、熱の負担は一定ではありません。  
夏の余った熱は一般家庭向けの薪の乾燥に使いたいと検討しています、そうすると夏の余

った熱は冬に持ち越せることとなり、木材そのものは太陽エネルギーの缶詰みたいなもので、備蓄が可能、人に渡すことも可能。

これからは、灯油とか重油から地元の資源に置き換えたとき時間の緩和、距離の緩和、全部合わせて検討しないといけないと思っています。

距離はもちろん縮まります。時間のなかで、今独楽やまつりの所で、薪の備蓄の場所も確保できると思っておりますので、今その計画を練り始まっている所です。まだまだ実行段階ではないです。【設備整備者 O.バルテンシュタイン】

Q: 現在出た熱については、旧下関小学校の建物の中で今現在どのように活用しているのか、教えていただきたい【矢祭町 大森秀一】

A: 現時点では熱電併給プラントはできてます、1階は床暖房になっていて、発電所の熱源と本館の床暖房の間の配管はまだできていない。

現在の熱利用は木材の乾燥のみです。【設備整備者 O.バルテンシュタイン】

Q: 今現在燃料の購入先ということで、遠野興産ということで記載があるんですが、遠野興産という所を存じ上げないんですが、こちらは矢祭等の木材を扱っている所なのでしょうか。

【矢祭町 鈴木直人】

A: 森林組合は広葉樹については収めている。【農林漁業者 富永盛彦】

A: 遠野興産は東白川地域でも大規模なチップ製造会社であり、東白川地域の木材も多く使用していて、間違いなく地域に貢献していると思います。【農林漁業者 田部博之】

Q: 設備整備計画5番のスインピア、ユーパルに供給すると記載があるが、こちらはどのようなになっているのか。【農林漁業者 田部博之】

A: こちらは白紙の状態ではありますが、将来的に熱電併給をいれるかボイラーをいれるか決まってはいませんが、将来を見越してあらかじめ入れておいているところです。【事務局】

※O.バルテンシュタインさんの設備整備計画について、認定してよろしいかお諮りいたします。認定に賛成の方は挙手願います。(全員挙手により認定)【会長】

## (2) その他

O.バルテンシュタインより、資料に沿って説明。

Q: 今この絵で見ますと、矢祭町でいう燃料、電気代、ガソリン代それぞれ、3億6千万と1億7千万の想定で矢祭町から流出していますよというお話ですよね、今度バイオマス設備をいれた際に、今の矢祭町が使っているエネルギー分を補ったとすれば、3億3千万くらいで補えるという想定なのでしょうか。【矢祭町 鈴木直人】

A: かかる費用は5億3千万かかるが、そのうちの3億3千万くらいが町の中で循環していきます。【設備整備者 O.バルテンシュタイン】

Q: バイオマス発電ですと、これまでのCO<sub>2</sub>の排出量とどれぐらいの差が出るのか。【矢祭町 鈴木直人】

A: 電気の場合CO<sub>2</sub>は減っていないが、原発を作る際にはCO<sub>2</sub>が出ていますので、それを少なくして、バイオマス発電により、電気自動車を普及させられれば、CO<sub>2</sub>の排出も少なくなっていくと考えています。【設備整備者 O.バルテンシュタイン】

Q：下関、上関で熱電併給プラントを増やすことによって、それぞれ熱と電気を供給できる  
ということで、電気はイメージが沸くが、熱についてはパイプラインを通さないといけない  
とおもいますが、そうすると、敷地内か近所でしか使えないというイメージでしょうか。

【矢祭町 大森秀一】

A：薪を乾燥して運ぶことによって熱を利用できるが、基本的に熱はカウントしない。【設備  
整備者 O.バルテンシュタイン】

4 閉会 午後2時30分